大人のための情報モラル通信
ネット炎上発生時の悪影響について

大人のための情報モラル通信は、子どもたちの安心・安全なインターネット利用に向けて、学校の先生方と保護者のみなさま、地域のみなさまに「大人としてできること」を考えていただくための資料です。

令和８年は年初から学校関係のネット炎上が多発しています。内容としてはイタズラ動画等の炎上ではなく、**いじめ・暴力行為に関するもの**が多く見られます。

これらは子ども達の人権や安全に直結する深刻な問題として、社会全体に大きな衝撃を与えました。投稿はもちろん、行為自体も決して許されるものではありません。





なお、これらの炎上は悪ふざけや嫌がらせ目的でなく**「正義の告発」**として行われるケースもあるようです。加害者をＳＮＳで晒し、責任追及を行うというものです。

しかし、たとえ本人は正義のつもりでも、その投稿により「加害者」になるおそれがあります。告発した相手側(いじめた側)から訴えられたというケースもあります。

★軽く見積もられるネット炎上の悪影響★

炎上が発生すると、関係者への**誹謗中傷**や**個人情報の特定**が始まることがあります。また、無関係の周囲の児童生徒や保護者も巻き込まれ、**新たな被害者**が生まれやすくなります。

なお、炎上により問題が可視化され、解決に至ることもあるでしょう。しかし、ネット上には学校や関係者への悪い情報が残り続け、**長期にわたり不利益を受ける**おそれがあります。

また、告発においては無関係の人を間違えて「加害者だ」と責め立てるケースも見られます。誤った情報を投稿した結果、自身が加害者となり、相手側から訴えられることもあります。



嫌がらせでも告発でも、ＳＮＳでの拡散・炎上は大騒ぎになり多くの人を傷つけますが、**問題が解決するとは限りません。**問題解決には学校や警察等との連携が欠かせません。その行為が本当に解決につながるのか、一度立ち止まって考えることが大切です。

発行元：千葉県健康福祉部　こども・若者政策課